

1. 構成部品

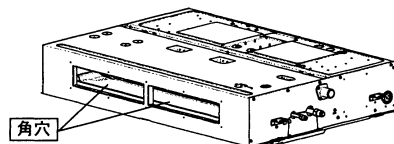
名 称	形 状	数 量	備 考
フレキシブルダクト		1	
吹出口グリル		1	
断熱材①		4	室内ユニット吹出口シール用
断熱材②		2	室内ユニット吹出口シール用
断熱材③		1	室内ユニット吹出口シール用
仮掛け金具		4	ダクト仮掛け用
風向調整板		2	(前+下)2方向吹出し時に使
風量調整板		1	(前+下)2方向吹出し時に使 (両面テープ付)
しゃ風材		1	1方向吹出し時に使用
しゃ風材シール (表)		2	1方向吹出し時に使用
しゃ風材シール (短)		2	1方向吹出し時に使用
断熱材④ (白)		2	別売天井パネル吹出口断熱用
断熱材⑤ (白)		1	別売天井パネル吹出口断熱用
ね じ		8	(仮掛け金具、 風向調整板用)
ね じ		10	4×16 (ダクト用)
ね じ (黒)		4	M4×50 (グリル用)

※この吹出口ユニットは、「(前+下)2方向吹出し」および「1方向吹出し」の2種類のご使用方法があります。「(前+下)2方向吹出し」を使用する場合は、以下の手順に従ってください。「1方向吹出し」で使用する場合は2ページをご覧ください。

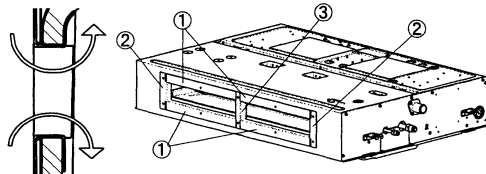
2. 「(前+下)2方向吹出し」で使用する場合

(ご注意)
マルチシステム用室内ユニットと組み合わせる場合は、「(前+下)2方向吹出し」での使用はできません。吹出し温度が低下し、水漏れの原因となります。

- (1) 室内ユニットの前面部に角穴(2ヶ所)をあけてください。
●板金のスリット部のつなぎ目をニッパ等で切断し、さらにカッターで断熱材を切り取って角穴をあけてください。

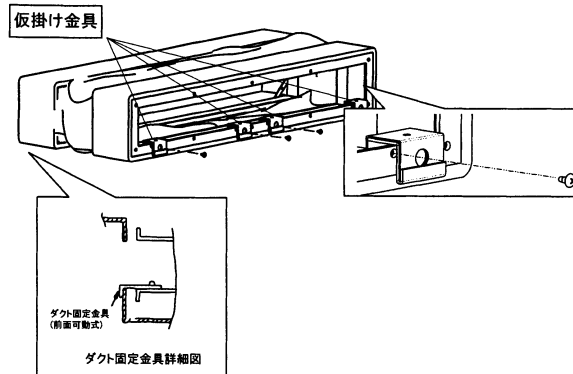


- (2) 室内ユニットに断熱材を貼り付けてください。
●図のように、断熱材①②③をねじ穴に合わせて貼り付けてください。断熱材は左図のように、穴の後側までしっかり貼り付けてください。



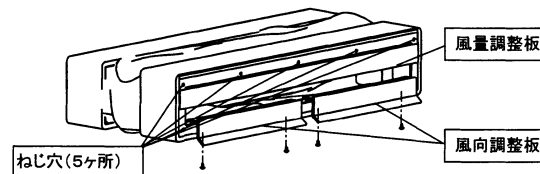
吹出口ユニット取付工事担当の方へ

- (3) フレキシブルダクトに仮掛け金具を取り付けてください。
●図のようにフレキシブルダクトの後面の下側に、仮掛け金具をねじ(4×8)で固定してください。ねじ止めは図のように、金具の穴を通して行ってください。

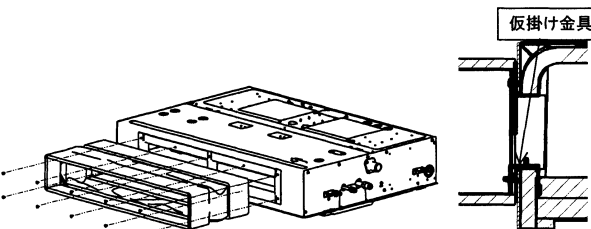


(ご注意)
フレキシブルダクトはダクト固定金具のある方を下側にしてください。

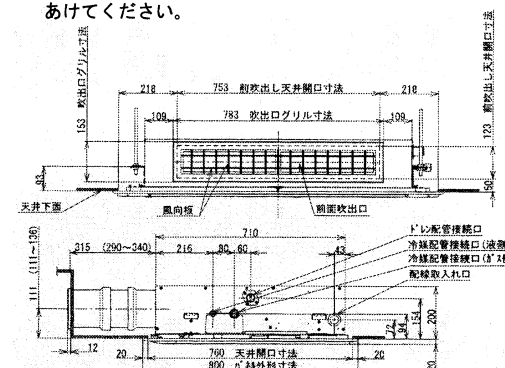
- (4) 仮掛け金具に風向調整板、フレキシブルダクトに風量調整板を取り付けてください。
●図のように仮掛け金具に風向調整板をねじ(4×8)で固定してください。
●図のようにフレキシブルダクトに風量調整板を両面テープで貼り付けてください。このときねじ穴をあわせるように取り付けてください。



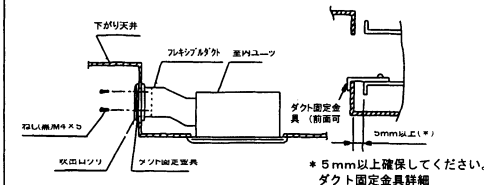
- (5) フレキシブルダクトを室内ユニットにねじで固定してください。
●フレキシブルダクトは、室内ユニットの吹出し口から手を差し込み、押し下げるようにして、仮掛け金具を角穴に固定してください。
●仮掛け金具を製品本体の角穴に引掛け、ねじ(4×16)で固定してください。(両面テープで貼り付けた風量調整板は共締めとなります。)



- (6) 下がり天井に、吹出口グリルを取り付ける角穴(753×123)をあけてください。

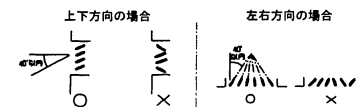


- (7) 吹出口グリルを下がり天井をはさんでフレキシブルダクトにねじ(黒)M4×50で固定してください。
●吹出口グリルを取り付ける前にダクト固定金具を吹出口グリル取付角穴の下面に引掛けてください。



- (8) 吹出口グリルの風向調節してください。

- 上下方向は吹出口グリルの水平風向調整羽根を、左右方向は吹出口グリルの垂直風向調整羽根を室内の温度分布が最適になるように調整してください。
●羽根の傾き角度は40°以内にしてください。40°を超えると冷房運転時露付きを起こす恐れがあります。



(ご注意)
吹出口グリルの風向調整羽根は、風の流れを妨げるような急な曲げ方をしないでください。吹出口から水滴落下の原因となります。

- (9) 別売天井パネルを取り付けてください。

- 別売天井パネルの取り付けは、別売天井パネルに付属の説明書をご参照ください。

- (10) リモコンで風量アップの設定をしてください。

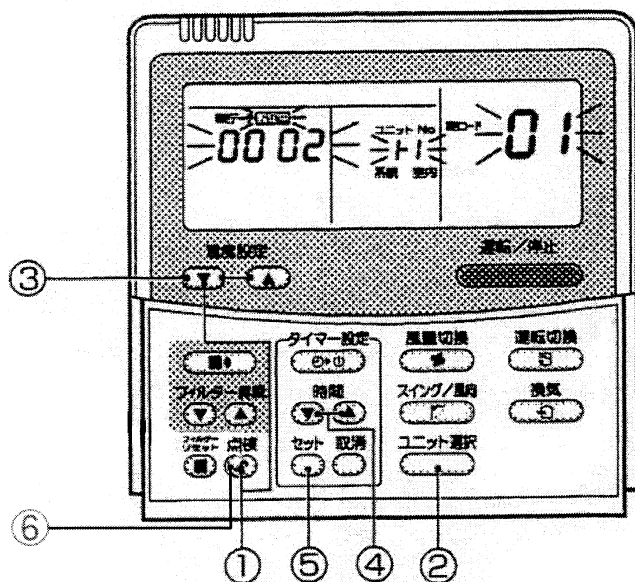
- 「(前+下)2方向吹出し」の場合は、風量の調節が必要となりますので3ページの「(前+下)2方向吹出しで使用する場合の設定方法」に従い設定してください。

-
- ねじキャップに貼付
- 貼付基準位置

●(前+下)2方向吹出しで使用する場合の設定方法

風量調節が必要です。以下の手順で風量アップの設定をしてください。

手順	運転停止中に設定変更を行います。(エアコンは必ず運転を停止させてください。)
①	「点検」+温度設定「▼」ボタンを4秒以上同時に押すと、しばらくして表示部が図のように点滅します。 表示された項目コードが「01」になっていることを確認してください。 ●項目コードが「01」以外の場合は、「点検」ボタンを押して表示を消し、最初からやり直してください。(「点検」ボタンを押した後、しばらくはリモコン操作を受け付けません。) (グループ制御の場合、最初にALLが表示されます。ALLの次に表示される室内ユニットNoが親機となります。)
②	「ユニット選択」ボタンを押すごとに、グループ制御内の室内ユニットNoを順次表示しますので、設定を変える室内ユニットを選択します。 このとき、選択されている室内ユニットのファンおよびフラップが作動しますので設定変更する室内ユニットの位置を確認できます。
③	温度設定の「▼」/「▲」ボタンで項目コード「5d」を指定します。
④	タイマー時間の「▼」/「▲」ボタンで、設定データ「0003」を選択します。
⑤	「セット」ボタンを押します。このとき、表示が点滅から点灯になれば設定終了となります。 ●グループ制御内の別の室内ユニットを変更したいときは、手順②から行います。 「取消」ボタンを押すと、今まで設定した内容をクリアできます。この場合は、手順②からやり直しとなります。
⑥	設定が終了したら「点検」ボタンを押します。(設定が確定します。) 「点検」ボタンを押すと設定中が点滅し、その後表示が消えて通常停止状態となります。(点検ボタンを押した後、設定中が点滅している間はリモコン操作を受け付けません。)



●1方向吹出しで使用する場合の設定方法

リモコンのフラップ表示が不要となりますので、以下の手順で設定してください。

手順	運転停止中に設定変更を行います。(エアコンは必ず運転を停止させてください。)
①	「点検」+「セット」+「取消」ボタンを4秒以上同時に押すと、しばらくして表示部が図のように点滅します。 表示された項目コードが「10」になっていることを確認してください。 ●項目コードが「10」以外の場合は、「点検」ボタンを押して表示を消し、最初からやり直してください。(「点検」ボタンを押した後、しばらくはリモコン操作を受け付けません。) (グループ制御の場合、最初にALLが表示されます。ALLの次に表示される室内ユニットNoが親機となります。)
②	「ユニット選択」ボタンを押すごとに、グループ制御内の室内ユニットNoを順次表示しますので、設定を変える室内ユニットを選択します。 このとき、選択されている室内ユニットのファンが回転しますので設定変更する室内ユニットの位置を確認できます。
③	温度設定の「▼」/「▲」ボタンで項目コード「19」を指定します。
④	タイマー時間の「▼」/「▲」ボタンで、設定データ「0000」を選択します。
⑤	「セット」ボタンを押します。このとき、表示が点滅から点灯になれば設定終了となります。 ●グループ制御内の別の室内ユニットを変更したいときは、手順②から行います。 「取消」ボタンを押すと、今まで設定した内容をクリアできます。この場合は、手順②からやり直しとなります。
⑥	設定が終了したら「点検」ボタンを押します。(設定が確定します。) 「点検」ボタンを押すと設定中が点滅し、その後表示が消えて通常停止状態となります。(点検ボタンを押した後、設定中が点滅している間はリモコン操作を受け付けません。)

